

イノシトールポリリン酸マルチキナーゼ

Cat. No. EXWM-2982

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は、Ins(1,4,5)P3をIns(1,3,4,5)P4に、Ins(1,3,4,5)P4をIns(1,3,4,5,6)P5に、そしてIns(1,3,4,5,6)P4を未知の異性体であるIns(PP)P4にリン酸化します。植物のアラビドプシス・タリアナからの酵素は、D-5位でIns(1,3,4,6)P4およびIns(1,2,3,4,6)P5をリン酸化して、それぞれ1,3,4,5,6-ペンタキスリン酸およびイノシトールヘキサキスリン酸（InsP6）を生成することもできます。酵母は、この酵素とEC 2.7.1.158、イノシトール-ペンタキスリン酸2-キナーゼの作用によって、Ins(1,4,5)P3からInsP6を生成します。

別名 IpK2; IP3/IP4 6-/3-キナーゼ; IP3/IP4 二重特異性 6-/3-キナーゼ; IpmK; ArgRIII; AtIpk2α; AtIpk2β; イノシトールポリリン酸 6-/3-/5-キナーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.1.151

CAS登録番号 9077-69-4

反応 $2 \text{ ATP} + 1\text{D-myoinositol } 1,4,5\text{-trisphosphate} = 2 \text{ ADP} + 1\text{D-myoinositol } 1,3,4,5,6\text{-pentakisphosphate}$ (全体反応); (1a) $\text{ATP} + 1\text{D-myoinositol } 1,4,5\text{-trisphosphate} = \text{ADP} + 1\text{D-myoinositol } 1,4,5,6\text{-tetrakisphosphate}$; (1b) $\text{ATP} + 1\text{D-myoinositol } 1,4,5,6\text{-tetrakisphosphate} = \text{ADP} + 1\text{D-myoinositol } 1,3,4,5,6\text{-pentakisphosphate}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。